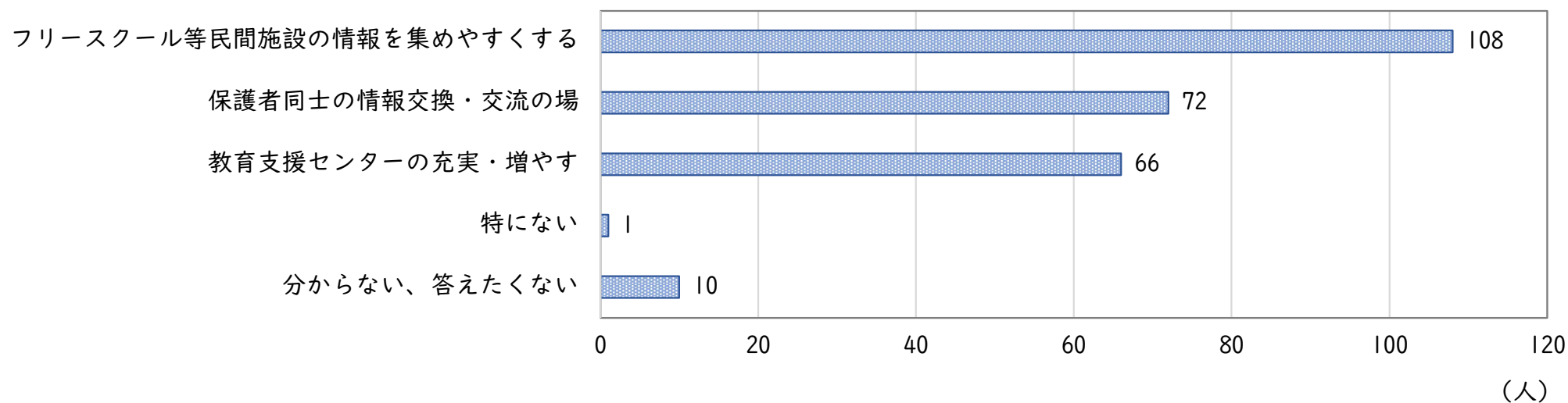


「フリースクール等民間施設の情報を集めやすくする」、「保護者同士の情報交換・交流の場」を求める声が多い
また、約5割が「教育支援センターの充実」と回答。

図17 求める公的支援（施設・情報）



子どもは施設の「活動・指導内容」、「雰囲気」により利用先を選択している傾向にある。
保護者は「子どもに合うかどうか」が大きな決め手になっている。

図18 フリースクール等民間施設利用のきっかけ(複数回答)

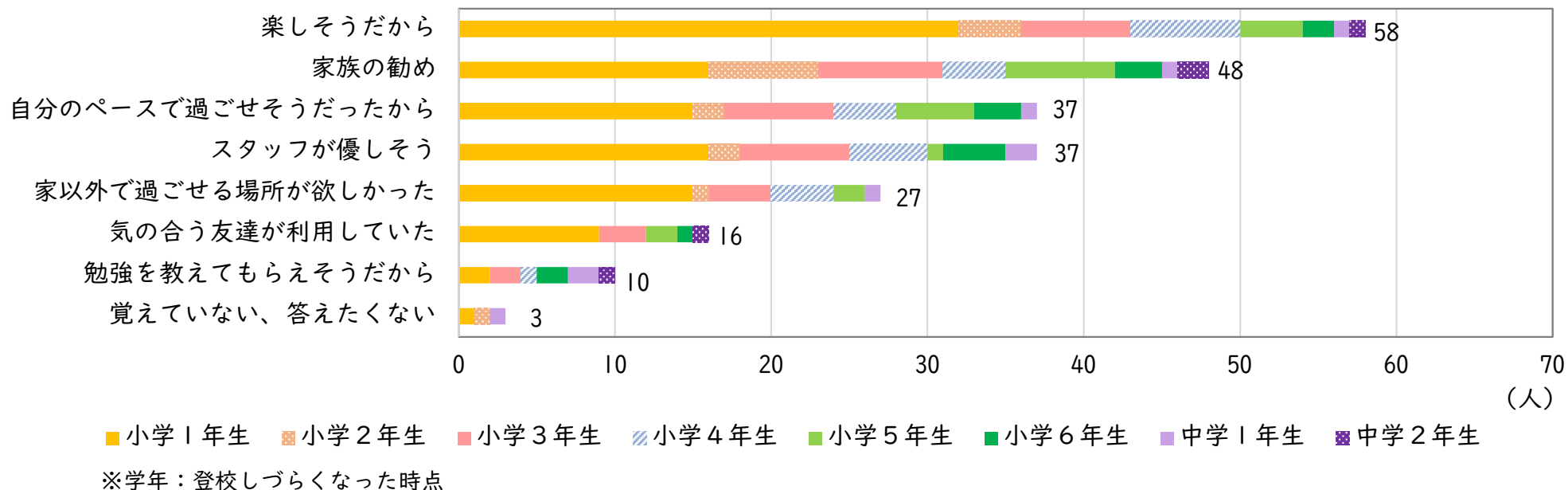


図19 利用するフリースクール等民間施設利用を選んだ理由(複数回答)

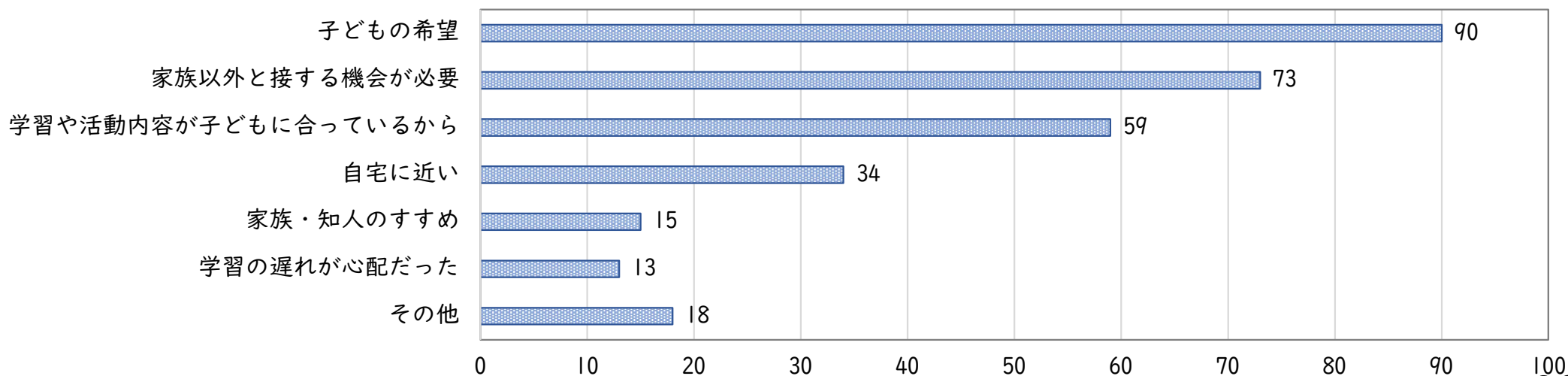


図20 フリースクール等民間施設を知るきっかけ（複数回答）

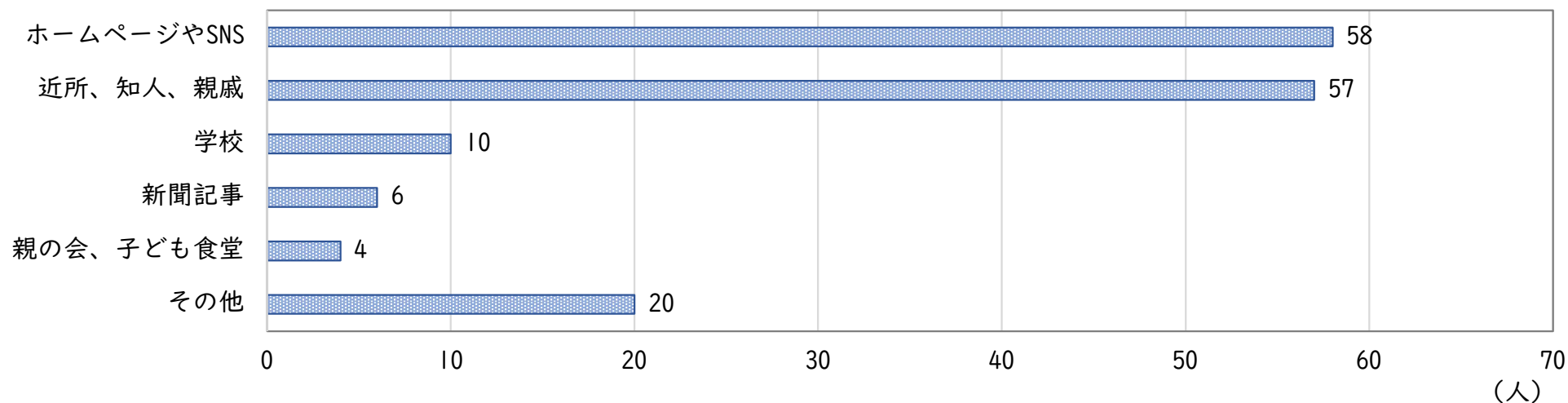


図21 フリースクール等民間施設を探す中での負担（複数回答）

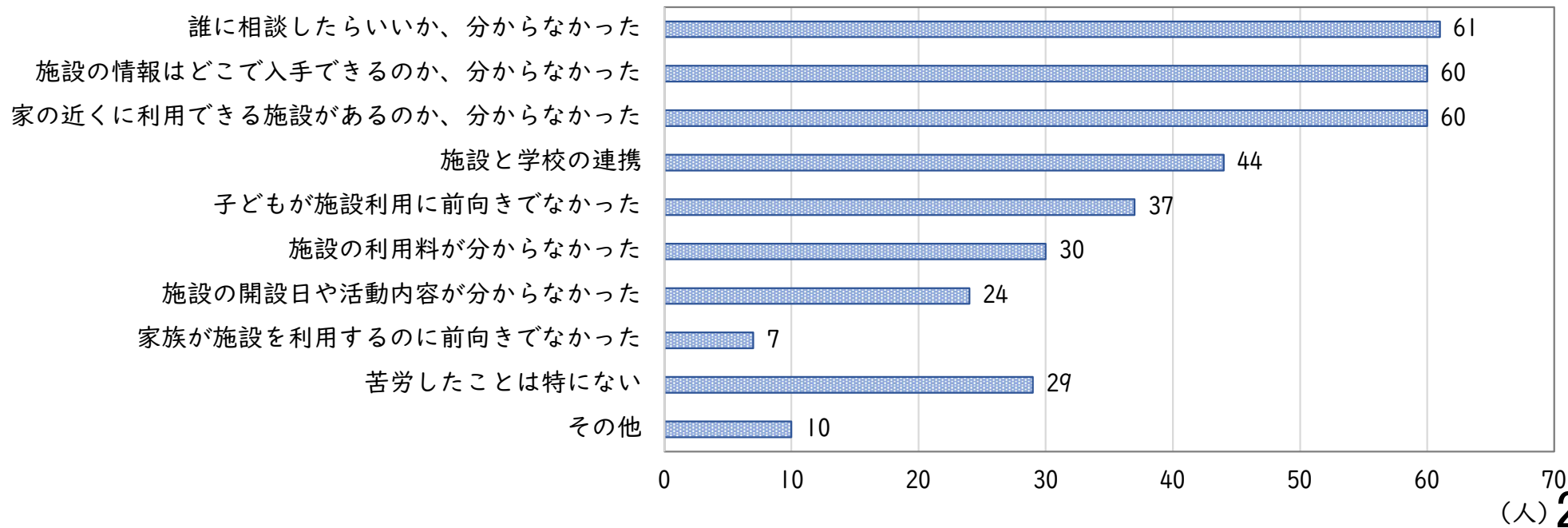
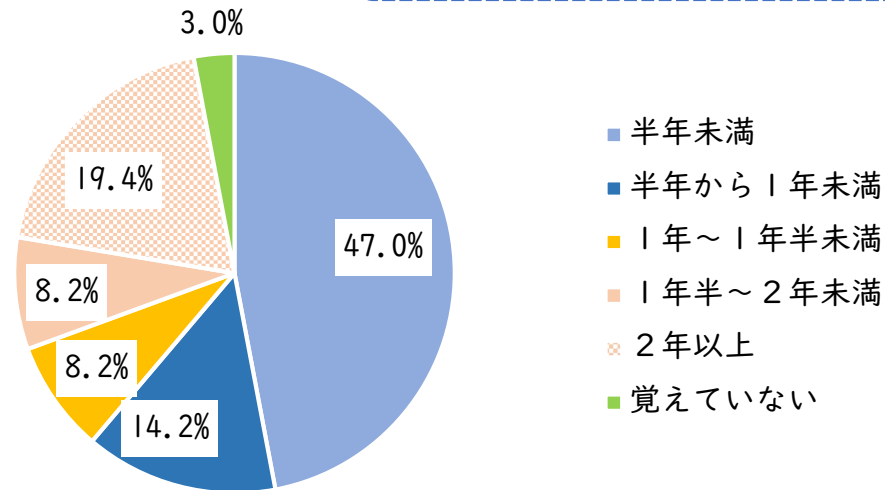


図22 フリースクール等民間施設利用までにかかった期間

約5割が学校を休むようになって半年以内にフリースクール等民間施設を利用



約3割が「週4～5日」フリースクール等民間施設を利用

図23 フリースクール等民間施設の利用頻度

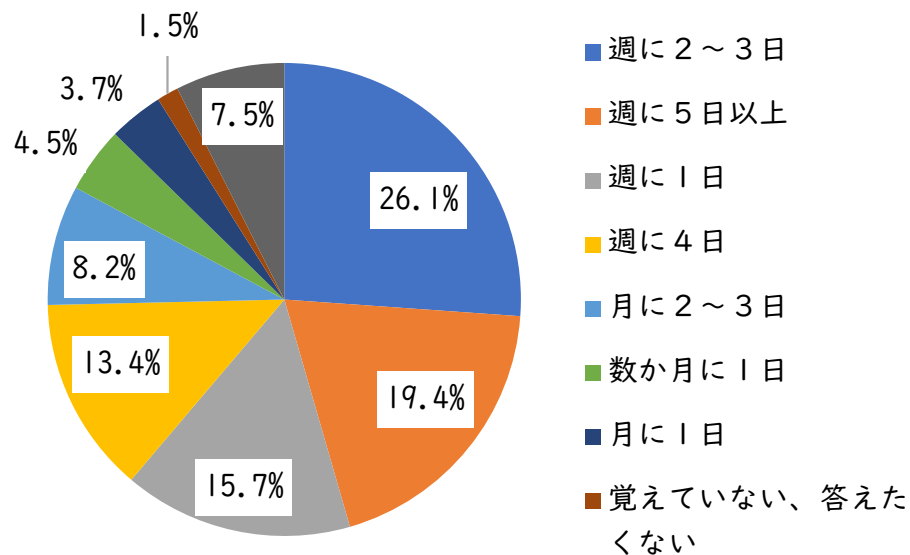
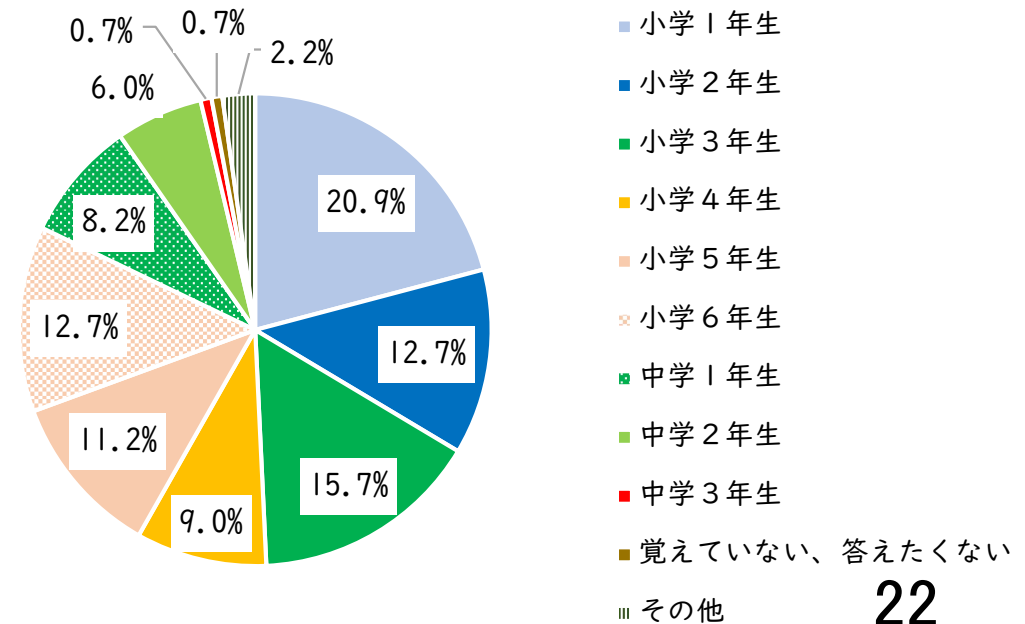
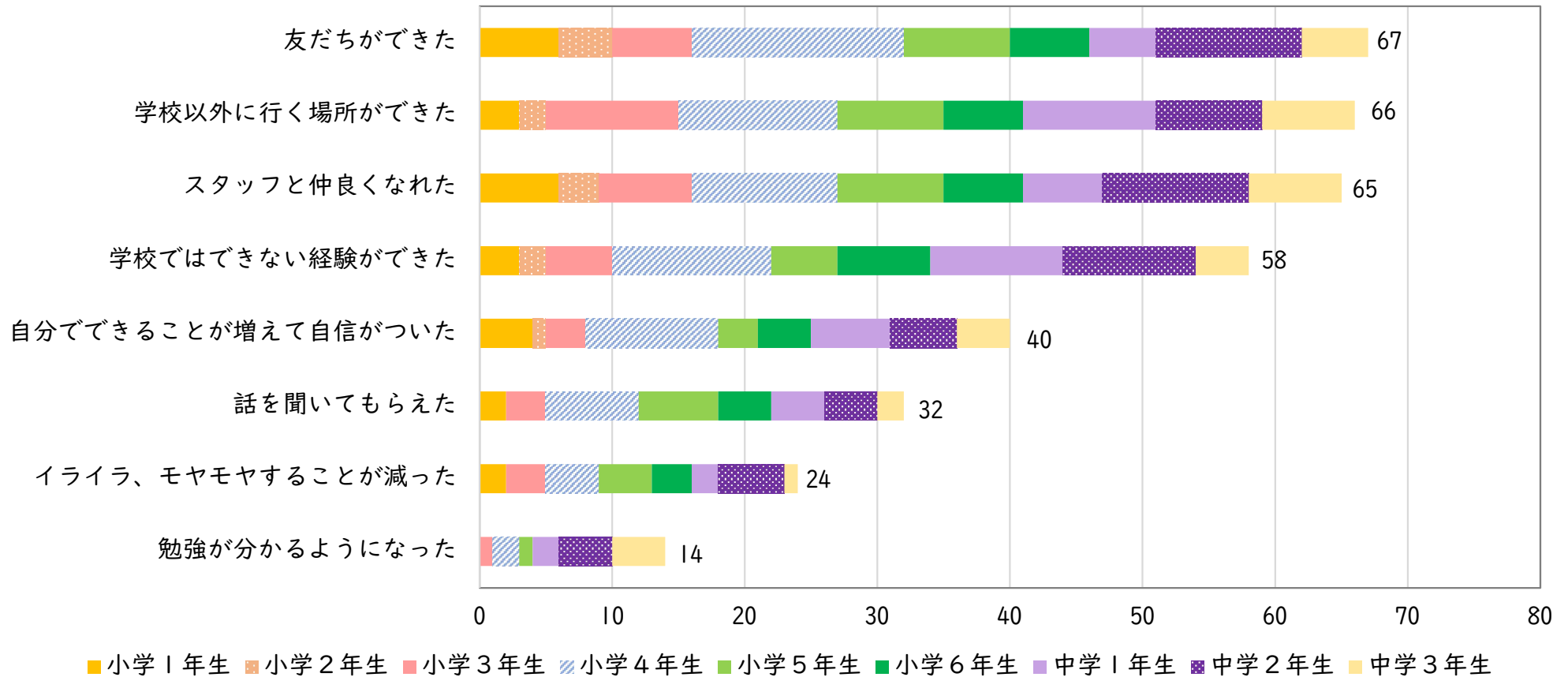


図24 フリースクール等民間施設利用開始時期



約6割が「友だちができた」「学校以外の居場所ができた」、約3割が「自信がついた」と回答。

図25 フリースクール等民間施設を利用してよかったこと（複数回答）



※学年：令和6年度の学年

㊦「経済的負担」が最も多い。約7割の保護者が送迎しており、送迎も大きな負担となっている。また、勤務時間等の変更など仕事の調整が負担であると4割以上が回答。

図26 利用上の負担（複数回答）

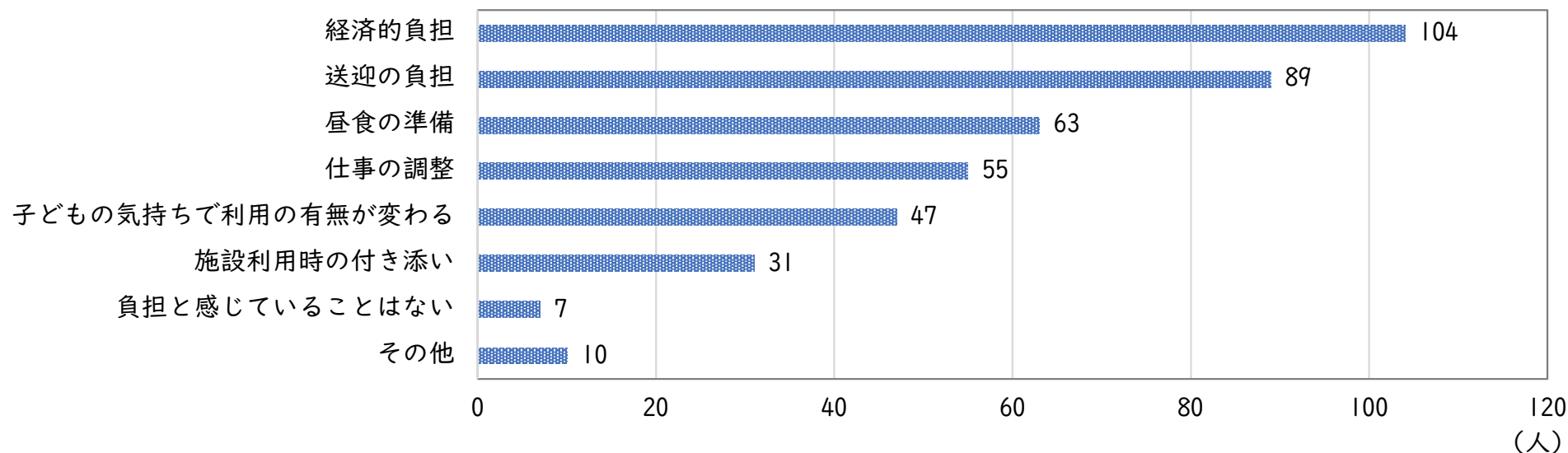
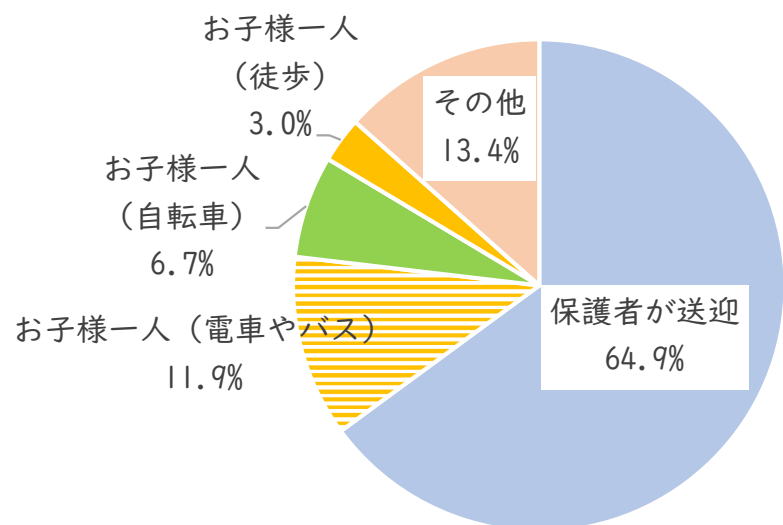


図27 通所方法



（参考）仕事への影響：125人（52.7%）（n=237）

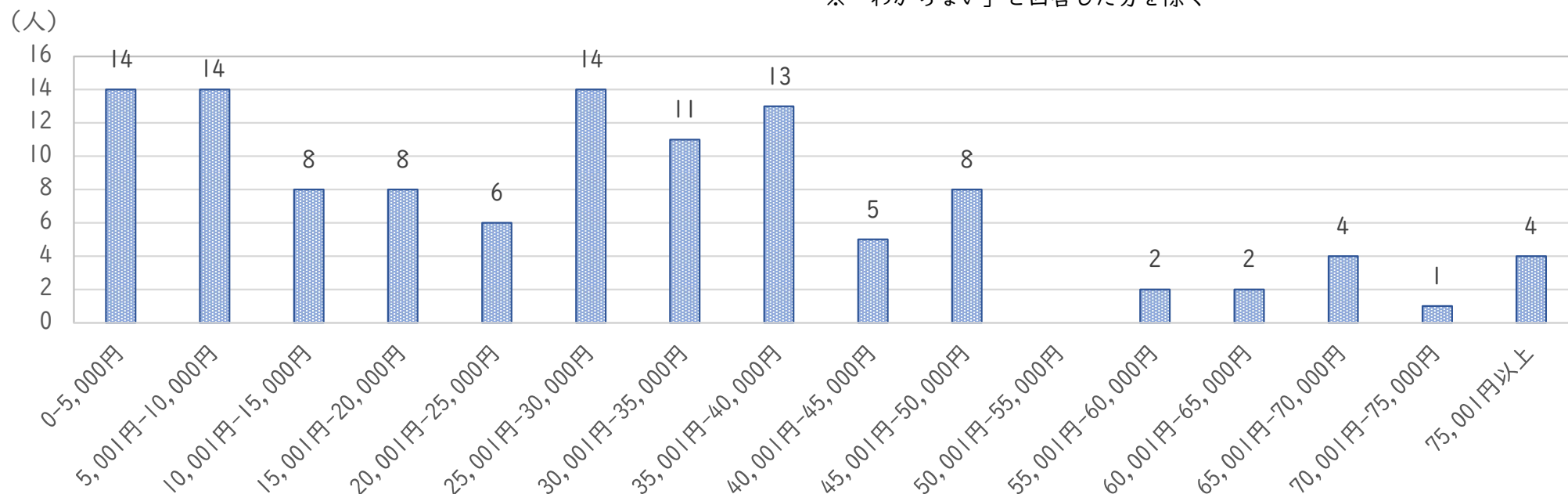
【仕事への影響】（複数回答）

・遅刻・早退・欠勤の増加	63名(34.1%)
・勤務時間等の変更	49名(26.5%)
・テレワークの増加	11名(5.9%)
・退職	25名(13.5%)
・転職	12名(6.5%)
・転職・退職を考えている	2名(1.1%)
・雇用形態の変更	7名(3.8%)
・休職	2名(1.1%)

※回答数：世帯で最も収入が多い人（134名）、次いで収入が多い人（103名）

図28 毎月の負担総額（授業料、教材費、昼食代、交通費、活動費の合計）（n=114）

※「わからない」と回答した分を除く



半数の世帯が「収入が減った」と回答

図29 世帯収入への影響

（参考）世帯収入

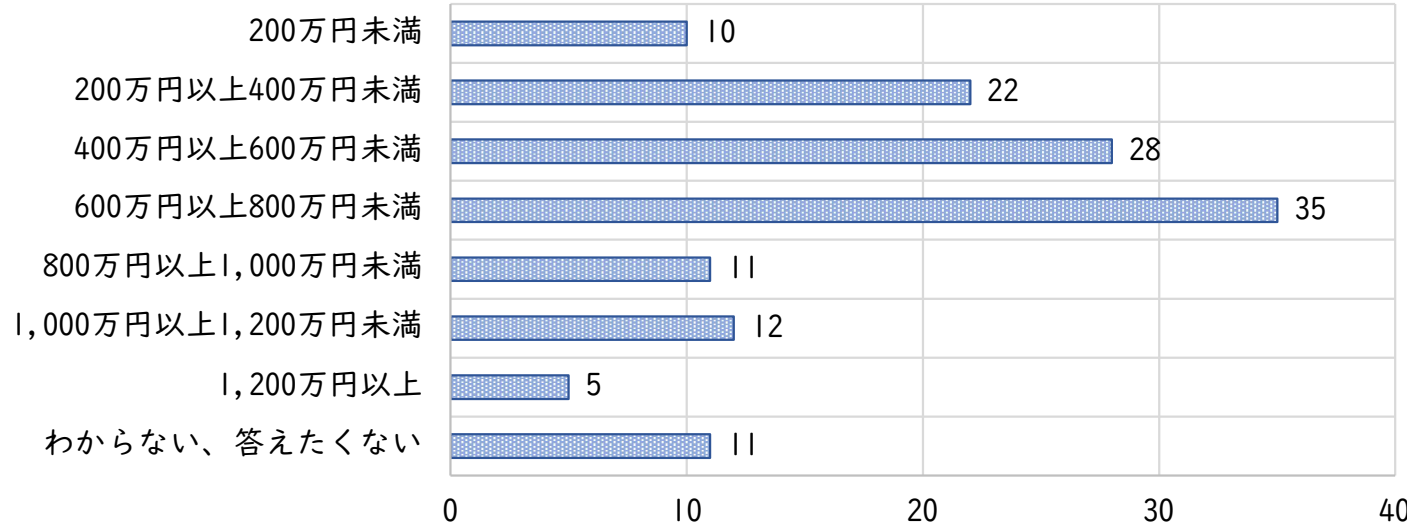
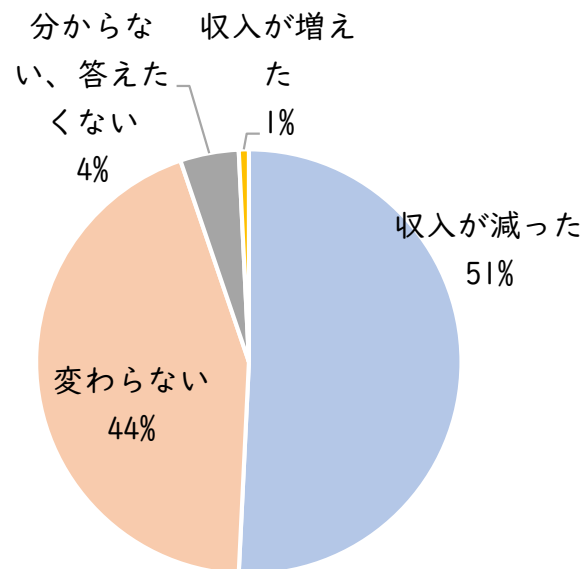
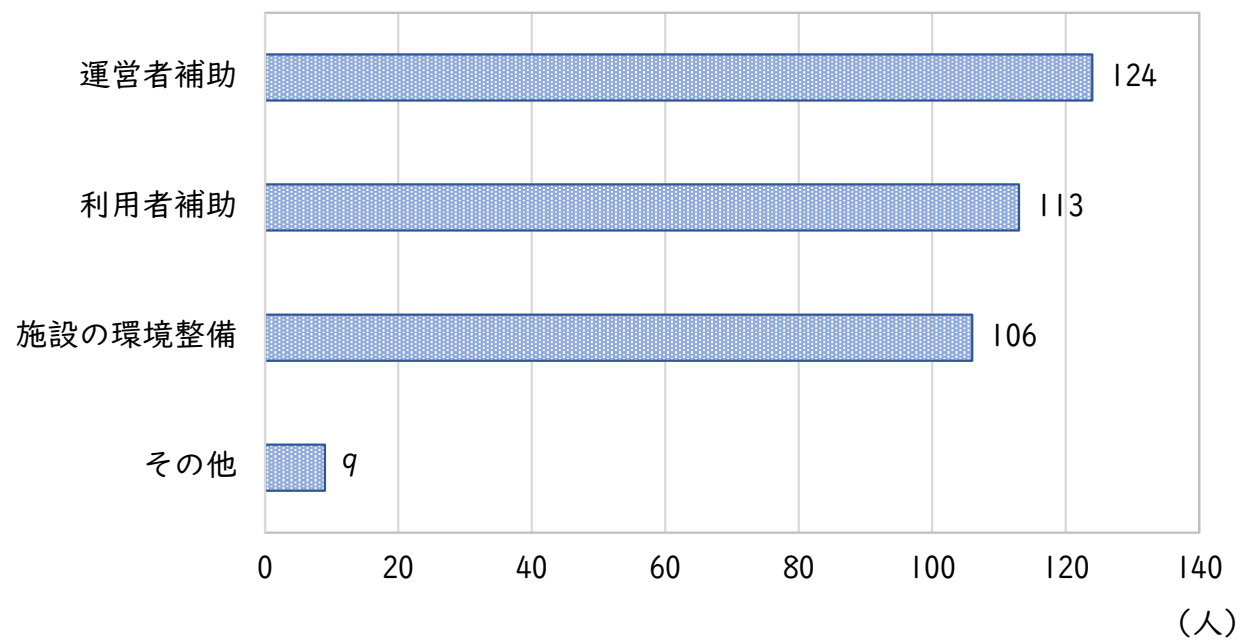


図30 フリースクール等民間施設に対して求める公的支援

🗣️ 「民間施設運営者補助」が最も多く、次いで「利用者補助」を求める声が多い



フリースクール等民間施設利用者に対するアンケート調査 経過概要（毎月回答：４月～８月継続回答分）

○回答者数（令和６年９月１３日時点）

・児童生徒 ６８名 ・保護者 ９１名

○児童生徒の属性（現在の学年）

【小学校】	１年生 ３名	２年生 ７名	３年生 １０名	
	４年生 １６名	５年生 １１名	６年生 １０名	
【中学校】	１年生 １１名	２年生 １３名	３年生 １０名	計 ９１名

フリースクール等民間施設利用者に対するアンケート調査結果(継続回答集計)

(4月から8月利用分の継続回答した子ども・保護者の集計結果)

(1) 子ども回答結果 (n=68)

図1 利用日数

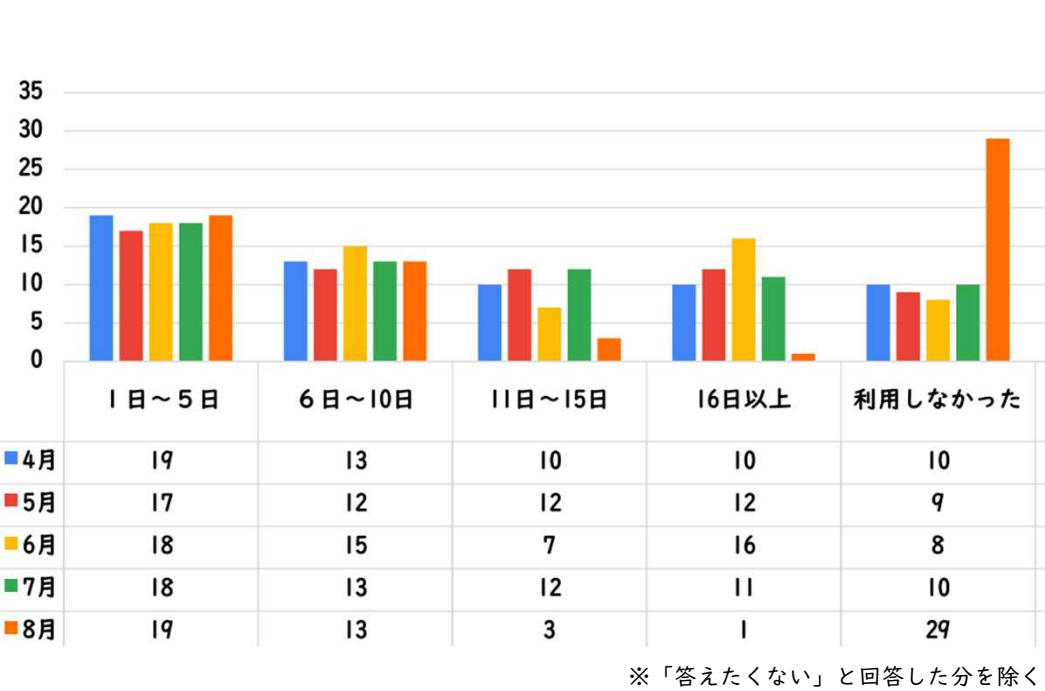
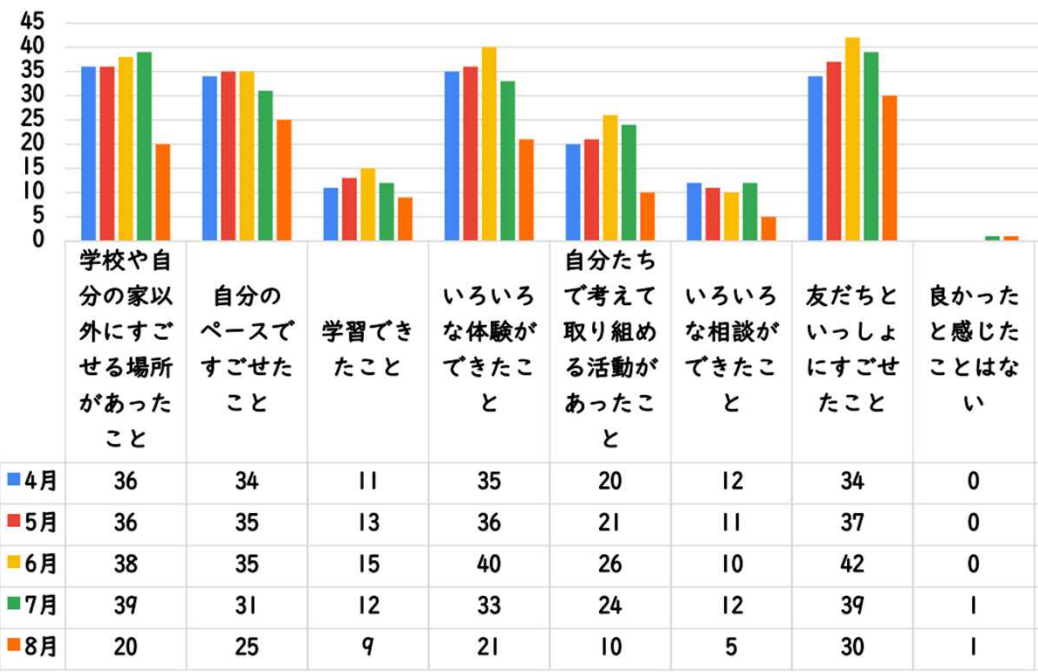
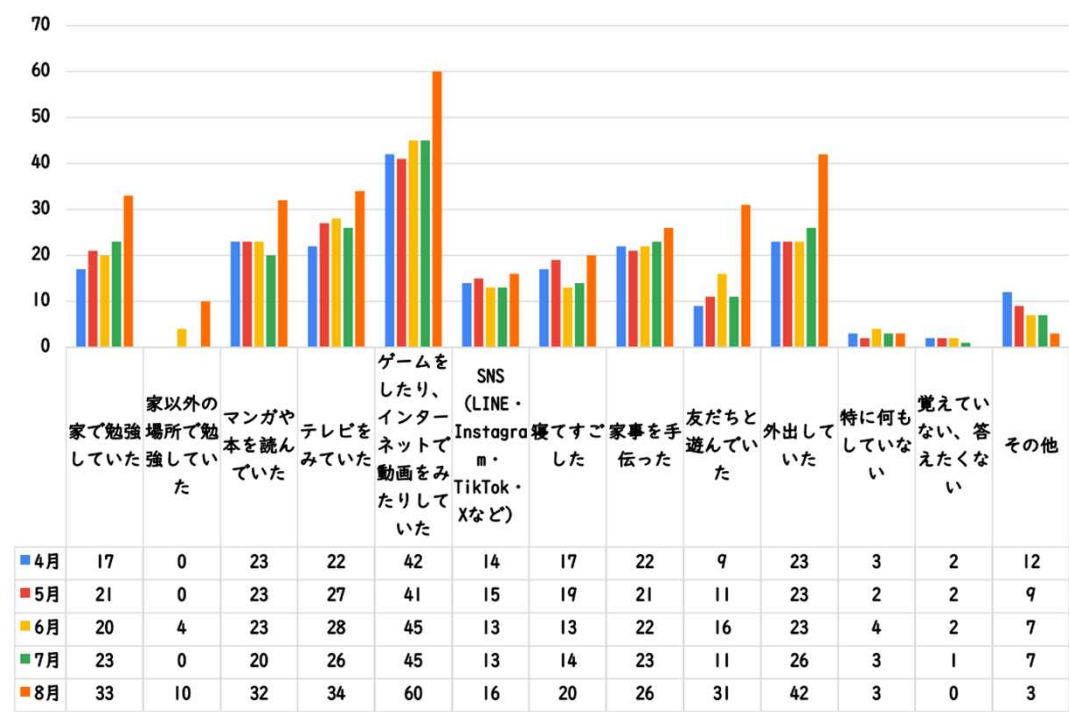


図2 施設を利用してよかったこと



- いずれの月も「1日～5日」施設を利用する子どもが最も多いが、8月は4割以上の子供が「利用しなかった」。
- 施設の利用でよかったことは、半数以上が「学校や自分の家以外に過ごせる場所があったこと」、「友達と一緒に過ごせたこと」と回答。

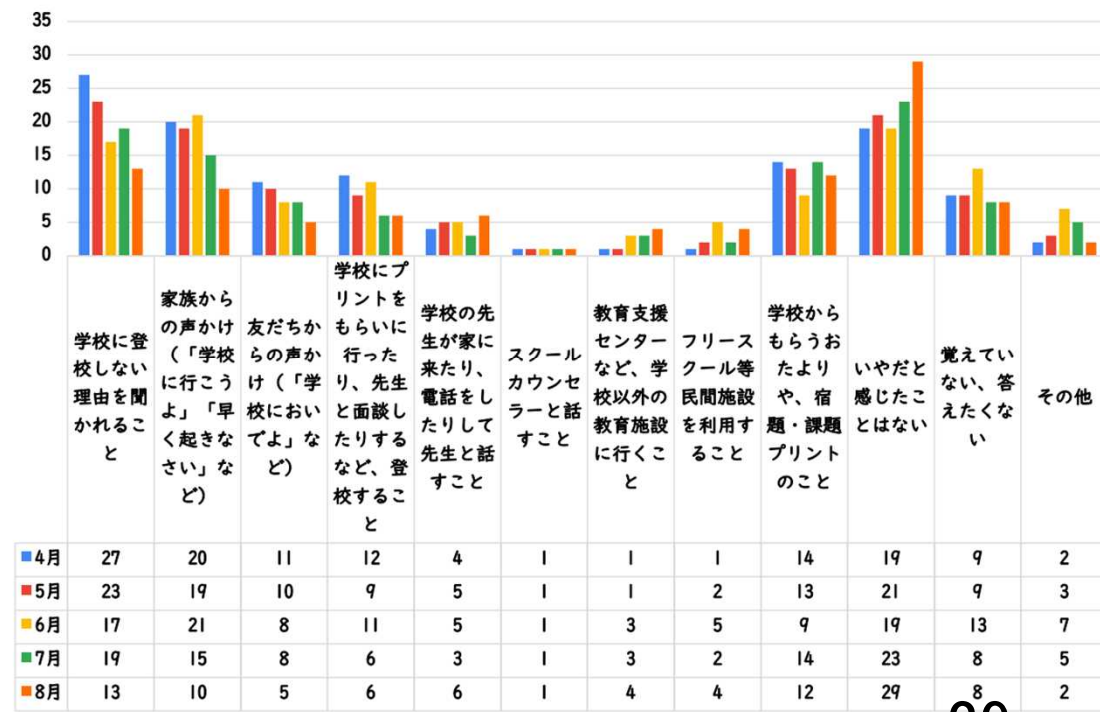
図3 施設を利用しない日の「昼間」の過ごし方



- ・約9割の子どもが施設を利用しない日の昼間は「自分の家」で過ごす回答。
- ・半数以上の子どもが「ゲームやインターネットの動画をみて」過ごす回答。
- ・次いで、「テレビをみていた」、「マンガや本を読んでいた」、「家事を手伝った」となっている。

・嫌だと感じたことについて、「学校に登校しない理由を聞かれること」、「家族から学校に行こうよなどの声かけ」、「学校からもらうおたよりや、宿題・課題プリント」と回答している子どもが多い。

図4 その月、嫌だと感じたこと

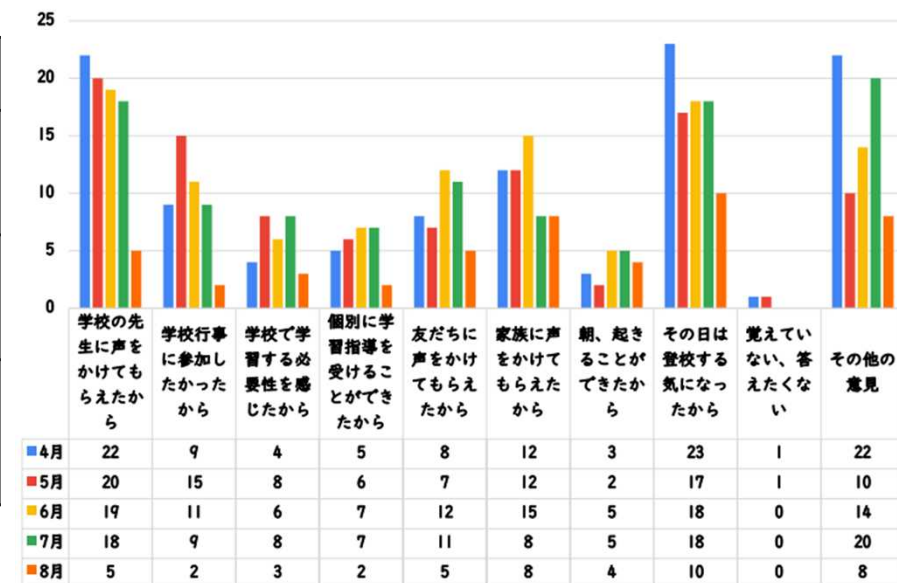


(2) 保護者の回答結果 (n=91)

図5 子どもの登校状況

	4月		5月		6月		7月	
1日以上登校した	64人	70.3%	56人	61.5%	57人	62.6%	60人	65.9%
登校していない	25人	27.5%	33人	36.3%	32人	35.2%	29人	31.9%
わからない、答えたくない	2人	2.2%	2人	2.2%	2人	2.2%	2人	2.2%

図6 登校のきっかけ



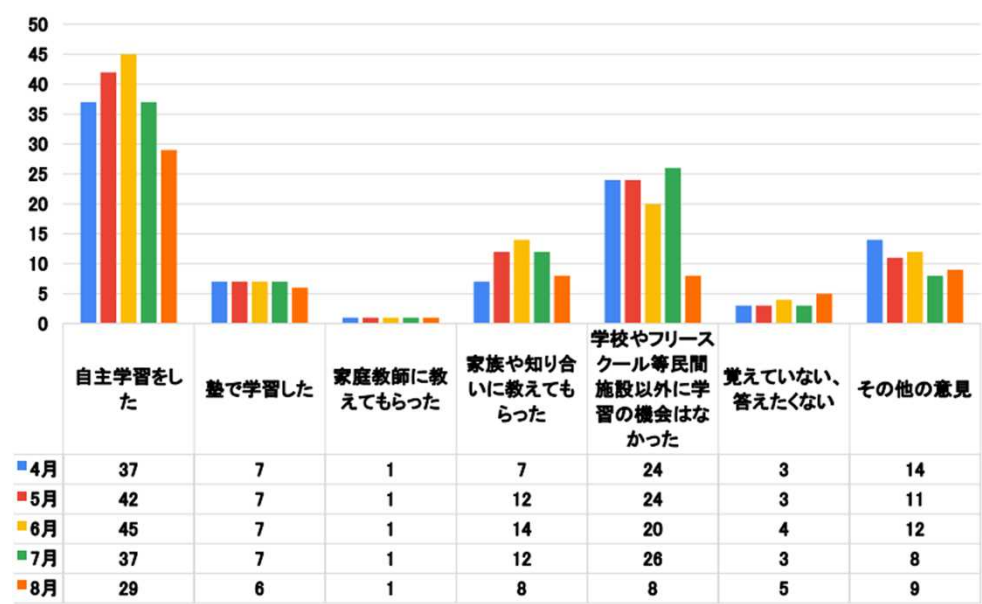
- 登校した日数として最も多いのは各月「1日～5日」。1日も登校していない子どもたちは、各月3割前後である。
- 登校できた理由としては、「その日は登校する気になったから」が多い。
- 声かけに関しては、「学校の先生からの声かけ」がきっかけだという回答が徐々に減少するのに対して、「友だちに声をかけてもらえたから」の回答が4月よりも6月、7月の方が増加している。

図7 フリースクール等民間施設利用状況

		4月			5月			6月			7月		
利用した	1日～5日 (週に1日程度)	25人	27.5%	84.7%	27人	29.7%	88.0%	23人	25.3%	85.8%	27人	29.7%	85.8%
	6日～10日 (週に2日程度)	19人	20.9%		21人	23.1%		23人	25.3%		21人	23.1%	
	11日～15日 (週に3日程度)	16人	17.6%		14人	15.4%		10人	11.0%		15人	16.5%	
	16日以上 (週に4日程度)	17人	18.7%		18人	19.8%		22人	24.2%		15人	16.5%	
利用しなかった		12人	13.2%		8人	8.8%		10人	11.0%		12人	13.2%	
わからない、答えたくない		2人	2.2%		3人	3.3%		3人	3.3%		1人	1.1%	

○ 各月、「週に1日程度」の利用が最も多く、次いで「週に2日程度」、「週に4日程度」となっている。

図8 学校やフリースクール等民間施設以外での学習の機会



○ 「自主学习をした」という回答が最も多い。

○ 「学校やフリースクール等民間施設以外に学習の機会はない」とだけ回答したのは

- ・ 4月：21人 (27%) ・ 5月：23人 (29%)
- ・ 6月：17人 (22%) ・ 7月：25人 (32%)

図 9-1 子どもの良い変化の有無

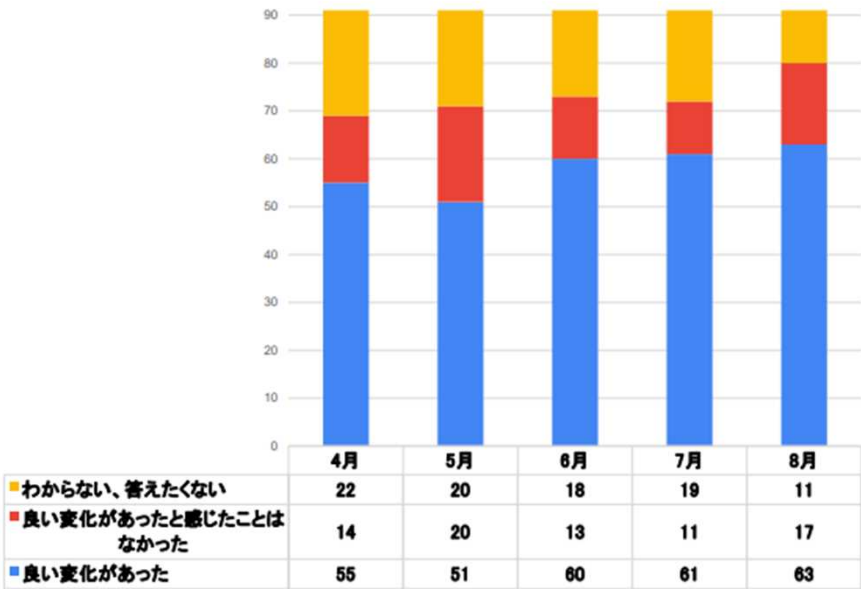
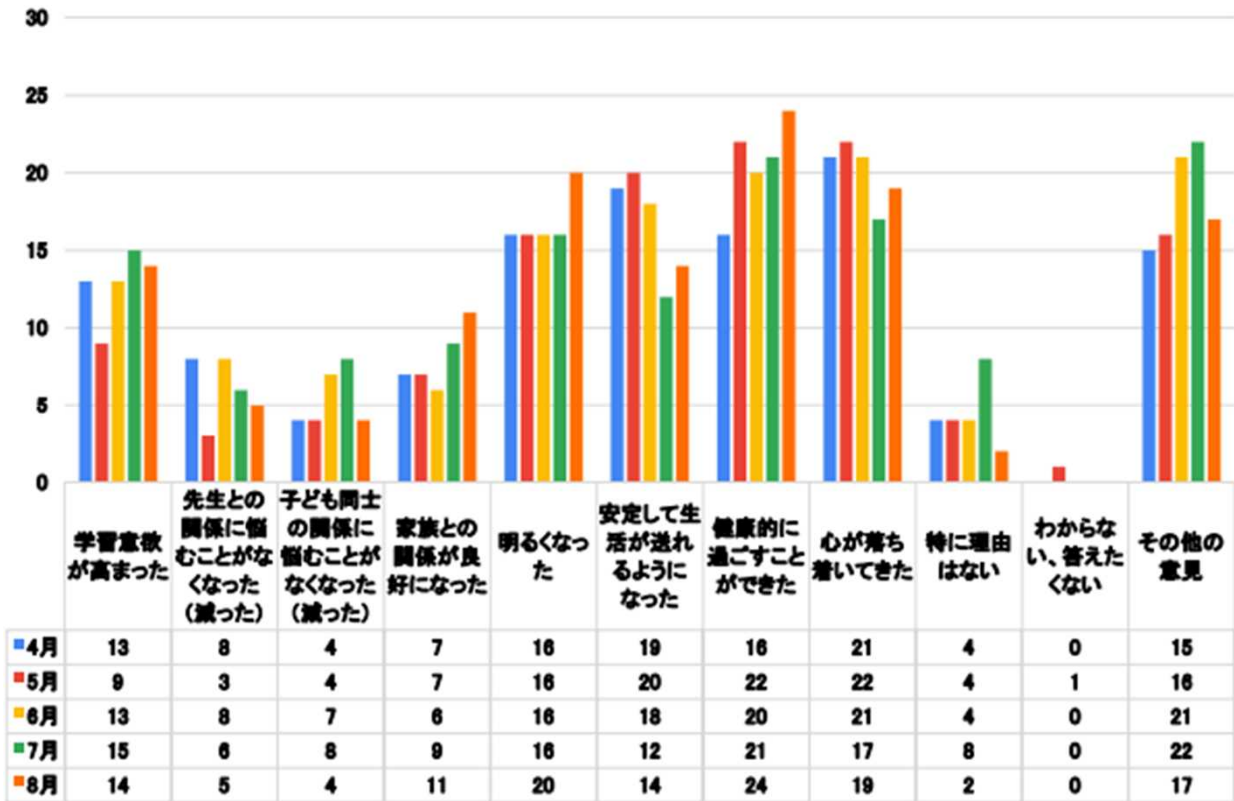


図 9-2 子どもの良い変化



- 各月半数以上の保護者が子どもの良い変化があったと答えている。
- 良い変化があったと感じた理由は、「安定して生活が送れるようになった」、「健康的に過ごせるようになった」、「心が落ち着いてきた」、「明るくなった」が多い。